

6月の予定

野毛山幼稚園

主 題	たのしい発見
ねがい	・遊びを楽しむ中で自分の気持ちを伝えようとする ・身近な自然現象・生き物やさまざまな素材にふれる

予 定

日	曜日	予定	備考
5	水	6月誕生会	
10	月	花の日礼拝	
11	火	保育講演会	
12	水	ランチ試食会(年中組)	
16	日	父の日の集い(年長組)	午後1時集合
19	水	じゃがいもほり(年長組)	
26	水	ランチあり	



●歯みがき指導

4	火	年少ひまわり組	
18	火	歯科検査(年長すみれ組・年中チューリップ赤組)	
25	火	歯科検査(年中チューリップ白組・年少ひまわり組)	

●こひつじの会

ランチのある日 水曜日を除く

聖 句 イエスは知恵が増し、背丈も伸び、
神と人ともに愛された

ルカによる福音書2章52節

今月の聖句は、本園で誕生会の際に読んでいた聖書のことばです。
ヨセフと母マリアはイスラエルの「過越祭」に行くために毎年エルサレムに旅していました。イエスさまが12歳になられた年もまた、過越祭のためにエルサレムに旅をしました。その帰り道、両親は大勢の中に混ざっていたと思っていたイエスさまがいないのに気づき、慌ててイエスさまを探しました。3日の後、神殿の境内でイエスさまを見つけた時、母マリアは思わず「なぜこんなことをしたのです。お父さんも私も本当に心配したのですよ」とイエスさまを叱りました。その時、イエスさまは教師たちと話をしていたのです。イエスさまは落ち着いて「どうしてお探しになったのですか?わたしが必ず自分の父のところにいることをわからなかったのですか?」と言われました。
イエスさまは迷子になられたのではなく、ずっと神殿で教師たちの真ん中に座り、神の国について話をしたり、質問に答えたりしておられたのです。イエスさまの話を聞いていた人々はみな、イエスさまの受け答えに大変驚いていました。両親にはイエスさまが「わたしが必ず自分の父のところにいることをわからなかったのですか?」と言われた意味がわからなかったと聖書に書かれていますが、母マリアは「これらのことをみな心に留めて(納めて)」いました。

この出来事の後、救い主キリストとしての働きを始められる30歳までのことは、聖書に書かれていません。けれども、ルカによる福音書の中には、今月の聖句と同じような意味のことば「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」とあります。同じような意味の言葉が2度記されているということは、神の愛の中、イエスさまがどのように成長されたかということの重要性を示しているのではないのでしょうか。

子どもたちが、少年イエスと同じように、神の恵みに包まれ、愛に満ちて成長していくことを願います。

年 長	すみれ組	年 中	チューリップ組	年 少	ひまわり組
<ul style="list-style-type: none"> 外で遊び、心地よさを感じる。 これまでのあそびに変化をつけたり、工夫して友だちとのあそびを楽しむ。 虫歯予防デーを通して歯の働きを知る。 歯について関心を持ち、動物にとっても大切であることを知る。 時の記念日を通して時間の大切さを知る。 時計遊びや数遊びをする。 発見したことや思ったことを先生や友だちに伝える。 楽しく踊ったり、合奏したりしながら、自分たちの思ったように表現する。 わからないことや不思議に思ったことを調べる。 雨の日も楽しく遊べるようにするにはどうしたらよいかを考える。 絵本や紙芝居に親しむ。 幼稚園の動植物に関心を持ち世話をする。 楽しくじゃがいもほりに参加し掘ってきたじゃがいもを使って料理したりする。 家族について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> 好きな場所で安定して遊ぶ。 簡単なルールのある遊びに参加し、先生や友だちと一緒に楽しむ。 虫歯予防デーを知り、関心を持つ。 時の記念日を知る。 時計遊びや数遊びを楽しむ。 絵本や紙芝居に親しむ。 幼稚園の動植物に関心を持つ。 遊んだ後、楽しみながら片付けをする。 雨の日も楽しく遊ぶ。 家族について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で安心感をもつ。 生活の流れや簡単なきまりを知る。 好きなあそびができることを喜ぶ。 先生や友だちと遊んだ後に片付けをし、きれいになった気持ちよさを知る。 新しい歌をうたったり、手あそびをしたりして楽しむ。 虫歯にならないためにどうしたらよいか知る。 いやがらずに歯みがき指導を受ける。 簡単な時計を作ったり、数遊びをしたりする。 雨の日も楽しく遊ぶ。 幼稚園の動植物に関心を持つ。 	

